

～ 制度設計の基本理念 ～

山口県立大学が、大学間競争に勝ち抜く力を備え、「地域貢献型大学」として、地域社会から高い評価を受けるために、法人の制度設計にあたっては次の視点を盛り込む。

1 教育研究の活性化

教育研究の大胆な個性化、重点化を図り、大学としての特色を明確に打ち出し、教員の多様な能力の発揮と地域社会に貢献する質の高い学生を育成する。

明確な理念・目標に基づく教育研究の計画的な推進
大学の特性や地域のニーズに即した教育研究の個性化、重点化
実践力を備えた学生の育成と高度な教育研究能力を有する地域指導者の養成
教員の多様な教育研究能力が発揮できる弾力的なシステムの構築

2 地域貢献・地域連携の強化

「地域貢献型大学」として地域社会に積極的に関与し、地域課題の解決や生涯学習への支援、産学公の共同研究など地域貢献・地域連携を強化する。

大学の総合力を活用した地域貢献策の展開
多様なニーズに対応した学習機会の提供
教育研究成果の地域社会への積極的な還元
大学の知的資源の積極的な活用による開かれた大学づくり

3 大学運営の効率化

大学を取り巻く社会情勢の変化に的確に対応する機動的かつ迅速な大学運営を構築し、運営の効率化を図る。

大学独自の発想や工夫による弾力的・自律的な大学運営
学部を超えた全学的な視点による大学運営
トップマネジメントの発揮による機動的かつ迅速な大学運営
説明責任が果たせる透明性の高い大学運営